

## 令和2年度 ふらっと移動市長室（実施結果）について

市長と地域の方たちが気軽に意見交換をする場として開催した「令和2年度 ふらっと移動市長室」について、参加者からいただいた御意見等の内容を報告する。

### ■ 概要

● 令和3年3月16日（火）午後6時～午後8時

【会 場】市役所4階 特別会議室

【参加者】市民：20代（計6人）

市側：市長、未来戦略室長、秘書広報室長

● 令和3年3月23日（火）午前10時～11時30分

【会 場】岩戸児童センター

【参加者】市民：20～30代（計11人）

市側：市長、子ども家庭部理事、子ども政策課長、児童育成課長、  
秘書広報室長

● 令和3年3月24日（水）午後7時～午後9時

【会 場】防災センター3階会議室

【参加者】市民：40代前後（計9人）

市側：市長、政策室長、未来戦略室長、秘書広報室長

● 令和3年3月25日（木）午前10時30分～正午

【会 場】防災センター3階会議室

【参加者】市民：中学生（計11人）

市側：市長、政策室長、未来戦略室長、秘書広報室長

### ■ テーマ

これからの未来について

（デジタル化社会、AIの進化について等）

### ■ 内容

1. 市長から「これからの未来について」を解説
2. 意見交換

## ● 第1回（令和3年3月16日(火)）・20代

<中学生や高校生の時にあった良かった施設やイベント>

意見
私自身、自宅で静かな環境で勉強をすることが苦手で、少しざわざわしていたり、他の人がいるスペースで勉強した方が捗る。中央図書館の資料室で勉強をしている人もいるが、資料室はあくまで資料を閲覧するスペースのため、狛江市にそのような勉強スペースがあるとよかった。
以前、休日にえきまえ広場で音楽のイベントが行われていたことがあり、参加者は芝生に座り飲み物を飲みながら音楽を聴いていた。そのようなイベントがもっとたくさんあって、その情報をSNSなどで知りやすくなるとよいと思う。そうすれば、時間があるときに行ってみようという気になる。
スポーツジムや球技ができるような広いスペースがあるとよい。
高校生の時に軽音楽部に所属していたため、市民だったら誰でも気軽に利用できるような、楽器の練習ができる施設があるとよい。また、今は演劇をやっているのだから、お芝居の練習ができる施設があるとありがたい。

<市からの情報発信について>

意見
そもそも市がSNSをやっていることを知る機会がないと思う。私は成人式実行委員を務めることになり、ツイッターのアカウントを作成した際に初めて狛江市のアカウントがあることを知った。自分から興味を持って見ようとしなくていいと情報を得る機会も少ない。例えば令和2年度成人式実行委員会のSNSアカウントを、成人式が終わった後も情報を発信していくアカウントとして活用するなど、若者の中で中心となる人が情報を発信すれば、インフルエンサーのような発信のきっかけになる人が生まれ、20代の人に情報が伝わりやすいし、伝わる速度も速くなると思う。

<参加してみたいイベントについて>

意見
狛江市にはさまざまな世代の方が住んでいる。最近は孤食がさまざまな世代で問題になっており、その中で定年退職された方が子ども食堂を開いているという話を聞いたことがある。それを地域の中で学校などと連携して行ってもよいのではないかと。そのような取り組みをしていることを呼びかければ、高齢者の方で、自分のために料理を作るのは億劫でも、誰かのために作ってみようという生きがいづくりにもなるし、他の世代との交流の場にもなると思う。
私は福祉について学んでいるが、団地の高齢化が著しいと感じている。団地の構造上、外出しにくい方も多いが、バリアフリーの対応をすれば外出するきっかけを作れるのではないかと。また、商店街とも連携し、子ども食堂や無料学習塾などで、誰もが一緒に交流できるコミュニティの場を作ることができればよい。特定の誰かに焦点を当てるのではなく、誰もが参加できるようなイベントがあるとよい。
有名人・芸能人が狛江に来るようなイベントがあれば、集客力が高まる。

<狛江にどのようなお店があるとよいか>

意見
狛江駅周辺には居酒屋が多いというイメージがあるため、昼間に入りやすいお店があるとよい。大学の空き時間や下校時間にも利用できるお店が増えると利用しやすいのでは。また、学生向けにリーズナブルで友だちとおしゃべりができるようなお店があると入りやすい。
駅まで行かないと主要なお店がないので、自分の家の近くに大きな総合店舗があると利用しやすくなる。個人的には本が好きなので、本屋などの文化的な店舗が増えてほしい。
家族で市内に外出する機会が多いので、ファミリーで入れるレストランがあるとよい。私は生まれてからずっと狛江に住んでいて、市内で何十回も行っているお店もある。そういうお店は平日の昼間に行ってもかなり混雑しているので、ファミリー層で行けるような大規模なお店があるとよい。
テレワークなどに使える、持ち込みが可能なレンタルスペースの需要が高いと思う。コロナ禍では大人数で飲食店に行くことも難しいため、仲間内数人で利用できるようなスペースがあるとよい。レストランやカフェといった形態にこだわらず、飲食物を持ち込んで利用できるスペースも需要があるのでは。

<新図書館について（どのような機能やスペースがあれば利用したくなるか）>

意見
コロナ禍の影響で大学の試験がなくなり、レポートを作成して提出することが多くなっている。レポート作成の際に資料を探すことになるが、図書館の蔵書数が追いついていないと感じることがある。資料を探して図書館に問い合わせても、他の地域の図書館からの取り寄せとなってしまふことが多い。例えば新図書館で勉強スペースがあるのであれば、斜めがけにできるタブレットを配備して、タブレットから蔵書の検索と閲覧ができるようにしてもらえると、レポート作成などの際に図書館ですぐに調べられるようになる。携帯電話やパソコンで資料を閲覧するのは見にくい面もあるが、タブレットであれば見やすく、その場で検索しながら情報収集もできる。
隣の人との間に仕切りがあるブース状の勉強スペースがほしい。また、カフェなどで勉強している人は、電源やWi-Fiが配備されているからその場所で作業をしているので、図書館にも電源やWi-Fiがあると便利だと思う。

<p>コロナ禍で、月額制の動画配信サービスの需要が高まった影響で映画を好きになった人もいる。狛江市には映画館が無いので、レンタルシアタールームのようなものが図書館があれば、おしゃれで友だちと行ってみようという気分になる。</p>
<p>二子玉川に蔦屋家電という店舗があり、ここではスーツ姿の人や高校生なども買い物を楽しんでいる。静かという環境ではないが、入りやすい環境であり、来店者がそれぞれ楽しんでいる様子がとてもよいと感じている。そういうよいところを取り入れていけば、魅力のあるスペースができるのではないかな。</p>
<p>図書館に入ると、本に囲まれていて圧迫感や威圧感を感じることがある。例えば全面窓ガラスするなど、開放感を感じる作りにすれば雰囲気も明るくなる。また、狛江弁財天池特別緑地保全地区の中で本を読めるようになると、落ち着いてよい読書環境になると思う。</p>
<p>現在、映像媒体をレンタルできる場所が西河原公民館ぐらいしかない。レンタルできる作品も古い年代や子ども向けのものが多いため、もっと映画を観られる環境や、レンタルできる作品が増えると利用者が増えると思う。また、人気の新着図書が入っても、予約待ちの人数が多すぎる状況がある。電子図書にすぐに反映するなど、多くの人が人気の図書を読めるようにしてほしい。</p>

<どんなまちづくりを進めてほしいか>

意見
<p>これから高齢化が進んでいくにつれて、地域でどのように最期まで暮らしていくかが重要だと思う。いざ地域で暮らすとなっても、市民の理解がないと難しい。狛江市にもいろいろな世代の方が暮らしているので、多世代交流ができるとよい。また、生活保護制度などの支援制度も、知らないで支援が受けられないという実態もある。もっと積極的な情報提供をして、これまで支援の手が届いていない人にも支援ができるようにすれば、よりよい街になっていくと思う。</p>
<p>学生の立場からすると、目的もなくコミュニティに入っていく勇気があまり無い。大学生では、SDGsやボランティア活動といった明確な目標があるものに惹かれる人は多い。最近は社会貢献に興味がある学生も多いので、そのような取り組みをしていることを学生に発信することで、参加しようと思う学生が増えるのではないかな。</p>
<p>デジタル化だけではなく、実物の方が利用しやすい年代の方もいるため、若い世代にもデジタル化だけではなく実物との折衷を大事にすると、利用しやすい範囲が広がるのではないかな。</p>
<p>私の周りには、SNSで自分がこの街に住んでいるということを発信している人は少ない。どこに住んでいるのか等の個人情報の特定が怖いからという考えがあり、情報を受けることはあっても、自分から積極的に発信するというイメージはあまりない。そのため、市のアプリやLINEなどによって、情報を受け取れる媒体を充実させていくとよいと思う。</p>
<p>狛江市には自然が多くて住みやすいから住んでいる人が多いと思うので、これからも自然を大切にしていってほしい。デジタル化を進めることもよいと思うが、自然を残していき、散歩してくつろげる場所を作ることが住みやすさにつながる。</p>
<p>高齢者の方がたくさん活動されているという話は聞いているが、若者がそのような中に入っていくのが難しい部分もある。もっと簡単に入っていけるコミュニティのようなものがあるとよいと思う。</p>
<p>AIの方が進歩するというお話があったが、AIが全てであるような世界にはなってほしくないという思いもあり、人の温かみやふるさと感じられるような街であってほしい。デジタルを取り入れることの否定ではなく、むしろこれからの社会では積極的に取り入れていかないと取り残されてしまうと感じているが、その一方で高齢の方に無理を強いることも違うと思うので、デジタルな部分とアナログな部分を織り交ぜながらまちづくりを進めてほしいと思う。</p>
<p>明確な目的がないと動きにくい部分もあるので、ボランティアや大学生が参加しやすいイベントがあるとよい。市が一方通行で実施するようなものではなく、学生が主体となって動けるようなイベントであったり、若い世代のインフルエンサーを活用したりなど、自分たちが受け身ではなく一緒にまちづくりを進められるようなイベントがあると参加してみたいと思う。</p>

## ● 第2回（令和3年3月23日(火)）・20～30代

### <理想的な公園や施設について>

意見
春や夏の公園は雑草が多い。雑草の中にゴミがあって危なかったことがあったので、草刈りをもう少し頻繁にしてほしい。
バナナ公園（緑の丘児童遊園）が楽しくてよく行っているが、小学生たちが遊んでいると乳幼児が遊べない。逆に乳幼児が遊んでいると小学生が遊びにくい。バナナ公園のような場所が市内にいくつかあると嬉しい。
児童館の施設や公園で、乳幼児の区画と小学生の区画をつくるのはどうか。子どもに遊ぶのを我慢させるのはかわいそう。
子どもが水遊びが好きだが、こまっこ児童館でしか遊べる場所がない。せせらぎでできるかと思っただが、蚊が多いのと「静かに遊びましょう」という看板があったので近隣の迷惑を考えて諦めた。水遊びのできる特徴を持つ公園があると嬉しい。えきまえ広場にミストシャワーがあるので、じゃぶじゃぶ池のようなものを追加してほしい。
公園にある手洗い場は、小さい子どもだと段差でうまく手が届かなくて、落ちそうになったり、中に入ると靴下が濡れてしまう。小さい子どもでも利用できる種類の手洗い場がほしい。
岩戸南の地域に大きい公園がほしい。前原公園のような、広場や遊具がある総合的な広場が岩戸地域にあるとありがたい。幅広い世代の子どもが遊べる公園が理想。
KoKoAの利用時間をもう少し考慮してほしい。午後4時30分に勤務が終わり、帰宅してくる家庭はともも少ないと思う。民間企業では、時短が未就学児の間だけというところがたくさんある。低年齢の子どもへの預け先がないのが不安である。

### <デジタル化について>

意見
子どもたちはタブレット教育を受け入れていくと思うが、紙ベースも大事だと思う。タブレット世代でない保護者が置いてけぼりにならないよう、保護者のフォローが必要である。やっている内容や今後家庭でお願いしたい内容などを周知できるといい。ただ、小学校の教師にタブレット教育の対応を丸投げするのではなく、保護者への指導は市からお知らせをしていく対応をしてほしい。

### <民間企業との連携について>

意見
事前登録制の陣痛タクシーが以前は1社登録できたが、今では狛江市が除外されており、出産まで不安な日々を迎えていた。民間には学校の前までバスで迎えに来てくれる学童サービスというものがあるが、狛江市の小学校は入っていない。調布・世田谷は入っているのに狛江は除外されているといった民間サービスが結構あった。他の市区町村と同様にしてもらえよう、市と連携や働きかけ等ができないか。

### <新図書館について（どのような機能やスペースがあれば利用したくなるか）>

意見
絵本を借りることが多いが、子どもがいると「走らないように、しゃべらないように」と気を付けていて肩身が狭い。優しい人もいるが、子どもがいるだけで厳しい高齢者もいる。にぎやかにしても大丈夫な図書館ができると嬉しい。子ども用の絵本だけでなく、親が読めるような本を置いてもらえるとお互い楽しめるので、ぜひ検討してほしい。
狛江には子ども・社会人にとっての自習室がないため、広い自習室のある施設が欲しい。これから子どもが成長して勉強するようになったときに、自宅以外で勉強ができる場所があるとよい。
よい図書館ができそうだとワクワクする。子どもが物に直接触れる体験など、小さい頃から経験することが大事だと感じている。以前、図書館の本を破ってしまったことがあり、行くことを遠慮していたので、本を破ってもいいと市長が仰っていたのもありがたい。やってほしいこととしては、本の世界を実物で再現したコーナーや、エンターテインメントなコーナー、季節の展示などがあると、親子ともに楽しいと思う。
子どもが図書館へ行くきっかけは親が連れていく場合が多いと思うが、市の中央図書館以外にも、学校や児童館の図書室をさらに充実してもらえると嬉しい。学校の図書室で本の楽しさを知って、子どもが自分から他の図書館にも行きたいと思ってもらえるようになってほしい。

### <コロナ禍での子育てについて>

意見
子育て世帯を対象にした市の講座をオンライン配信していて、リアルタイムで観られない人には後日配信してくれた。空いている時間に録画されたコンテンツを観られるのはありがたい。
コロナ禍であるが、オンラインよりも直接子育てをしているお母さんや先生と話ができる機会がもっとあるとよい。児童館でのイベントがなくなって子どもが気の毒だった。遊べる機会を増やしてほしい。
赤ちゃん訪問が休止している状態での子育てで不安だった。現在では市のベビーシッターやファミリーサポートの制度にお世話になっている。
子育てをしている中で、一番困るのが子どもの遊び場。子どもが小さいときは、公園に小学生がいると危なくて遊ばせられない。児童館だと大人が見てくれる。場所も小さい子どもと小学生と分かれているので、安心して送り出せる。コロナ禍で、公園で小学生が遊んでいると怒って苦情を学校に入れてくる人がいるので、児童館に頼っている。しかし今回、岩戸児童センターがコロナワクチンの集団予防接種場所になっていると知り、利用の一時制限があるのを心配している。

<交通状況について>

意見
雨の日に、こまバスを利用して児童館に行っている。帰りはチケットをもらえるが、行きチケットはないので自腹になる。帰りに際に、次回の行きチケットをもらえるなどしてほしい。
市内は自転車で児童館へ行きやすいが、雨の日はこまバスかタクシーになる。こまバスの本数が増えてほしい。
子どもの検診であいとびあセンターに行くことが多い。こまバスを利用しても遠いので、遠いエリアの人向けに何か対策を考えてほしい。
北側は歩道が広いが、南側は道が入り込んでいて狭い。歩道に電柱があるので車が来たときには避ける必要があり、ベビーカーで散歩していると心配な時がある。

<狛江市の子育て環境について>

意見
保育園や学童などの情報を入手しにくいので先輩ママに聞いている。保育園に入れても学童に入れないことがある。また、K o K o Aに入れたけど、子どもが行かずに友だちの家に寄っていたというトラブルもあった。もう少し上手く回るようにできればと思う。
子育て相談ができる時間帯が短い。電話での相談もあるが、子育てをしながら電話で相談をするのは難しい。LINEやメールなどで気軽に相談ができればよい。
子どもが保育園に落ちたことがあった。これから子どもができたときに、預け先の問題を考えると断念する家庭もいるのではないかと思う。保育園の先の話として、学童でも預けるのが厳しいとなると、自分たちは子どもをこれ以上は持てないと思ってしまう。保育園を増やすにしても、狛江市のどこを考えても土地がないと感じるものの、必要なものでもある。狛江は居心地はよいが、どこに家を買うのかを調布・世田谷・狛江を比較した時に、子育て環境がとても大きな判断基準となる。

### ● 第3回（令和3年3月24日(水)）・40代前後

#### <デジタル化について>

意見
平時はよいが、有事の際に狛江の未来はどうかと危惧している。コロナ禍でテレワークが増えてよいこともある。デジタル化が進んでいく中で何を残すべきなのか考える必要がある。
デジタル化が進むからこそ、人とのコミュニケーションが大事だと感じる。町会の中のコミュニティをデジタルの中で進めるなど、コミュニティ形成は必要。
センサーの技術も向上していて、「どのタイミングで」「何が起きているのか」、そして「どれだけ速くキャッチできるのか」をセンサーで集めて市民に知らせる方法を考える必要がある。スマートフォンの位置情報なども含めて、データを取られることに拒否感を抱いている人も多いため、行政側が扱う上で理解を得ていく必要がある。
コロナ禍によりデジタル化が進み、コミュニティもどんどん作られていく。狛江市の課題は商店街が弱っていること。商店街をリモートワーク拠点として商店を育成するなど、市内の産業を育成していくとよい。
自治体によってはチャットボットを使用している。AIを上手く使えば、特に外国人の対応に役立つ。
納税証明書(国税)がICカードを使って入手でき、外出しなくて済んだことがあった。使いにくいシステムも多いので、使いやすいシステムを狛江市にも導入してほしい。
デジタル化になり、便利になるのはありがたいが、高齢者が増えて、万人にサービスが均等にわたる社会にするための方法も考慮する必要がある。
企業によっては、パソコンのみ貸与されて、自宅などからサーバーにアクセスして仕事ができるようになっている。パソコンを置き忘れても情報漏洩にはならないので、リモートワークがしやすくなっている。
リモートワークが増えると家・事務所から出なくなる。エコルマホールなどを貸しオフィスにすれば、経営者が集まりやすい。レンタルオフィスで人が集まり、話をしてビジネスが軌道に乗ったという話を聞いたことがあるので、相乗効果が期待できる。駅前にそういうものがあれば、商店街の発展や、結果としてランチで外食する人が増えるのでは。
デジタル・ITの観点で、行政として先進的な取り組みができる環境を整えてほしい。そうすればベンチャー企業が入りやすくなる。多摩川沿いにベンチャー企業を集めて何かするとよいのでは。狛江市だからできることだと思う。先進的な取り組みをして、集まる呼び掛けをする方法もある。
例えば市の音楽コンサートで、申し込み方法が未だに往復はがきのみというケースがある。時代の流れからも、他の方法を取り入れていくべきだと感じている。

#### <創業支援について>

意見
コマラジでコワーキングを拡充するという話があり、そうすれば創業者が来てくれると思う。市とコマラジの接点が少ない気がするので、上手く連携をもっと活用してほしい。
商工会には人が足りていない。創業はサポートだけでなく、同じ目線で相談できる仲間が大事。商工会に青年部があるが、青年部創業支援としてのバックアップをするために市からの補助がほしい。お金ではなく、コミュニケーションを取りながらサポートができるようになれば、場所が広くなくても、このままでは何も変わらないと感じる。
市内の税理士や社労士などの士業を集めて、創業した人を対象にした無料相談があればよい。例えば、税理士は調布・府中は増えている反面、狛江は減少している。税込確保にも繋がると思うので、市が主体となってやってほしい。

#### <新図書館について（どのような機能やスペースがあれば利用したくなるか）>

意見
理想のモデルは二子玉川の蔦屋家電。あまり本を売ろうとしないように感じている。カフェがあり、仕事をしている人もいる。売り物の本を図書館のように立ち読みをしている人もいる。人が集まってくる、ある種のコミュニティ形成もできるだろう。また、図書館に立ち寄った人が、近くの店で買い物をするなど、相乗効果も期待できる。階層ごとに分けるのは、時代に合っていると思う。行政がつくるお堅いものではなく、気軽に入れる場所にしてほしい。
人が集まる拠点になってほしい。
車いすの利用者など、障がいのある人でも使いやすい施設であってほしい。
リモートワークで使うような機材があれば利用したくなる。
他の地域にはない、狛江ならではの変わった特色があると、新規利用者が図書館に行ってみるきっかけとなる。
本の蔵書数を増やしてほしい。
子どもの予防接種などであいとびあセンターまで行くことがあるが、場所が遠く感じる。臨時的でもいいので、図書館や市民センターのスペースを予防接種などに充ててくれると嬉しい。
狛江の歴史について調べられるよう、歴史関連の蔵書を増やしてほしい。デジタル化を生かし、昔の映像や写真を組み合わせるとすれば、住んでいる人も狛江市に対して親しみを持ってくれるのでは。
他の場所や地域では調べることができない、狛江の歴史などが知ることができる場所がまとまっていたらよい。狛江のことを語る語り部などがいると面白い特色となる。



<p>狛江の商店街で日替わり・週替わりで、アンテナショップなどを集めたイベントを開催するなど、図書館が狛江の特色や魅力を発信する場所になってもよいと思う。</p>
<p>中高生が自習できるスペースや地域の人が会議をしたり、市民活動ができるスペースがあるとよい。市民センターは市民活動をする場所として、市民自身が盛り上げながらこれからのことを行う場所にして、図書館は勉強や学習をする場所にする。</p>
<p>これからは教育よりも学習が大事だと言われているので、蔵書をデジタル化し、学習もA Iを組み合わせながら行うことが重要。多様化も進んでいくので一人ひとりに合った学習が必要となってくる。全世代が新しいことを何か学びたいと図書館に行くと、いろいろなことが順を追って学べて新しい取り組みがしやすくなるようなところになるとよい。</p>
<p>デジタル化はよいと思うが、子どもへの読み聞かせはタブレットなどではなかなかできない。子どもたちがタブレットを使って教育を受けていると聞いて、ずっと画面を見せることで目が悪くなるのではと心配。ぬくもりも含めて蔵書を読んでもらいたい。</p>

<狛江市の活性化について>

意見
<p>魅力の一つとして商店街の活性化をすべき。店によっては古いものを残しつつ、新しい時代に向けて形成している。狛江市も代替わりが進んで状況が変わってきた。新しい人が商店をやらないと活性化していかないのでは。何か動けば周りもよい影響が出ると思う。</p>
<p>市内にはカフェが多いが、狛江産の野菜を扱う八百屋など、付加価値のあるものを取り揃える商店街も面白いと感じる。市内で始まったフォートマーケットなど、新しい人が活躍してくれる場所をつくれるとよい。</p>
<p>エコルマホールが使いにくい。会場を予約するのに、未だに対面で書式を記入しないとイケない。また、エコルマホールの中でWi-Fiが飛んでいないので、オンライン配信ができるシステムをつくってほしい。</p>
<p>音楽の街と言われているが、音楽家が交流できる街にしてほしい。音楽の街の事業も、今は硬直化しており、予算を消化しているだけの印象を受ける。音楽をやっている若い人が流入してきて、音楽家たちのコミュニティができれば、狛江市の特色が出ると思う。</p>
<p>開店するにも物件探しに苦労する。不動産屋に聞くと、物件はあるが飲食NGの物件が多いと言われた。空き家を使いたいができないと言われたこともある。駅前物件は急激に家賃が高くなるので、その点も解消してほしい。</p>

## ● 第4回（令和3年3月25日(木)）・中学生

### <市内にあったらよいもの>

意見
天気に関係なく屋内で遊べるスポットや予約をしなくても気軽に使えるような施設が欲しい。
狛江市のテニスコートをよく使うが、そのような運動をできるスペースが少ないと感じている。最近はボール遊びを禁止している公園が多く、友達とボールを使ったスポーツや体を思い切り動かせるような場所が欲しい。
最近設置された狛江三叉路のビジョンについて、例えば市民から動画を応募して放映するといった交流のやり方があってもよいのではと思う。市民が関われる場所として、活用できないか。

### <公園にあったらよいもの>

意見
騒音などで近隣住民に迷惑がかかることがあるので、大きな壁を設置するなどの防音対策ができれば遊びやすい。近所にもいくつか公園があるが、夜になるとそこで騒いでいる人がいるため、何か対策ができればよい。
公園の中に、屋根がある休憩スペースがあると、雨の日などにもそこに集まれる。
防音のために壁を設置するという意見があったが、防音のためだけではなく壁があればテニスの壁打ちや、バスケットボールの練習などで利用できる。また、ボルダリングができて楽しめたり、壁にみんなが絵を描いて楽しめるようになってほしい。
施設の一部をデコレーションして、インスタ映えスポットにすれば、もっと人が集まるのでは。
横浜市にあるような、壁に羽根の絵が描いてあって、その前に立つと羽根が生えているように見えるインスタ映えスポットがあるとよい。
公園がもう少し広い方が思い切り遊べる。狭いと中途半端な感じもして、公園は小さな子どもから中学生ぐらいまで遊ぶので、子ども同士がぶつかったりしないように、もう少し広ければよいなど感じる。
職場体験で保育園に行ったときに、保護者の方から、公園へ子どもと行く際に、壁や大きな植木があると死角ができてしまい怖いという話を聞いた。壁にみんなで絵を描けたりするのもとても素敵だが、公園の中と外が隔離されてしまうのは、保護者からすると子どもが目につかない所に行ってしまうたりして怖いのではないかと思う。壁を設置するアイデアもとてもよいと思うが、死角にならないように設置したり、穴を開けたりするなど、外と中が遮断されない公園づくりを考えてほしい。

### <公民館や地域センターの施設について>

意見
Wi-Fiなどの通信環境が整っていると、学校で支給されたパソコンが使いやすいと思う。
西河原公民館をよく使うが、ロビーの椅子の数をもう少し増やしてもらいたい。みんなで集まれる場所を広くしてもらえると、気軽に集まることができる。
岩戸地域センターで週1回絵画サークルに参加している。いつも利用している創作室で、違う団体の方が備品を使うと、備品の位置が少し動いてしまっていることもあるが、それを伝える手段がない。同じ部屋を使う団体同士で意見交換できる掲示板のような手段があるとよいと思う。
地域センターのフリースペースには禁止事項の貼り紙ばかりがたくさん貼ってあり、かえって行きづらく感じる。
普段あまり地域センターに行く機会はなかったが、新型コロナウイルスの影響により、飲食店などに行けなくなってから、友達と会うときに利用するようになった。その際に、喋ってよいのか、スマートフォンを使ってよいのか、飲食をしてよいのかなどの細かいルールが分からず、結局すぐに外に出してしまった。貼り紙でやってよいことなどの利用ルールを書いてもらえると、若い世代の人たちも足を運びやすくなると思う。
西河原公民館をよく利用するが、図書室に「自習はしないでください」という貼り紙が貼ってある。図書室で勉強したいという方も多いと思うが、自習ができないのであれば、自習室を他に作ってほしい。また、西河原公民館には倉庫のような場所が自習スペースとして使用されているが、他に人目につかずに集中できる部屋があればいいと思う。

### <新図書館について（どのような機能やスペースがあれば利用したくなるか）>

意見
静かな図書館がよい。複数人でおしゃべりできるような場所は公民館など他にもあるので、図書館は本を読んだり学習などで集中できるような環境にしてほしい。
集中して自習できる場所の他に、友達と勉強を教え合いながらコミュニケーションを取れる場所がほしい。
スマートフォンでも電子書籍として同じ内容の本を読むことはできるが、実物の本を手を持って、ページをめくって読み進めてくという行動が好きな人が若い世代にもたくさんいる。スマートフォンだけで本を読もうという人は、そもそも図書館にあまり行かないタイプの人だと思う。やはり図書館としての一番の強みは、実物の本があるということであってほしい。電子図書の普及が進んでいったら、実物の本があることが強みになっていくのではないかと思う。
電子図書はタブレットなどで自分の家でも読むことができるが、実物の本をたくさん並べることは自分の家ではできない。図書館の魅力の一つは、実物の本がたくさん並んでいることだと思う。また、静かな環境があることも大切だが、友達と一緒に教え合いながら学習できるスペースも欲しい。
飲食可能で過ごしやすい図書館が欲しい。座り心地のよい椅子があり、室温も快適で何時間でも過ごせるような読書スペースがあると嬉しい。そこでスマートフォンで動画を観ていてもよいような、過ごしやすいスペースをつくってほしい。



中高生が学習する利用を想定していると、休日に人が集まって平日にはあまり人が集まらないことも考えられる。利用対象を絞ることもよいが、駄倉保育園の近くに建設するのであれば、幼児向けの本があるスペースも用意しておけば、幅広い年代の人が利用できる図書館になると思う。

本のページを実際にめくって読むということも大切だが、2冊3冊借りようとする、本を探すのも大変だし、持って帰るのも重くて大変になる。タブレットを一つ借りれば、たくさんの本を読むことができ、人気の本でも予約待ちもなく、大勢の人が一度に読むことができるため、タブレットは導入してほしい。小さい子どもの視力低下を避けるためにも、本を読むために特化した、目に優しい白黒で表示されるタブレットだとよいと思う。

自習スペースに、座りやすい椅子があると学習意欲向上にも繋がる。

フロアー（階）によって、できること・できないことの利用制限を変えた方が利用しやすいと思う。例えば1階は幼児向けで声を出せる雰囲気にして、上の階に行くほど静かな環境になっていくなど。静かな環境で学習したい人は上の階に行って、おしゃべりをしたい人は1階に行ってもらえるようにすれば利用しやすいと思う。また、自習室を作ると、人気が出て満室になってしまうこともある。その時にアプリなどで満室状況を確認できると利用しやすい。

電子図書より実物の本のページをめくって読んでいく方が好きで、私は読みたい本があって図書館に行くよりも、図書館へ行ってみて読みたい本を見つけることが多い。そんな出会いがあれば知識も広がるし、思いがけない本と出会うことができるので、本との出会いを大切にできる図書館であってほしいと思う。また、駅からも近い場所になるため、自習スペースはあってほしい。

狛江市の図書館へ本を探しに行くと、狛江市にはないけれども調布市にはあるということがよくあるため、もう少し蔵書の幅を広げてもらえると嬉しい。狛江市の図書館には中高生が読む本が少ないと感じている。自分の読みたい本があると図書館へ行くきっかけにもなるし、新しい本に出会いたくて行くという人もいると思う。私は本棚にたくさんの本が並んでいる様子を見るのが好きで、活字を読む文化は自分の人生を豊かにしてくれると思うので、本を読むという文化にも力を入れていただけると嬉しい。

私もスマートフォンで読むより紙の本の方が好きだが、今まで本をあまり読まなかった人が手軽に読めるようにスマートフォンを活用することもよいと感じている。どちらも融合できる図書館であれば、本が好きな人は実際に見ながら読む本を決めることもできるし、少し本に興味がある人はスマートフォンを使って気軽に読めるという風に、両方を融合できればよいと思う。

図書館内の配置の話になってしまうが、利用者の周りに本が並んでいて、本に囲まれながら読むというレイアウトも素敵だと思う。本の世界に自分が入っているというような気分になれて、本を読むためだけでなく、その景色を見るという楽しさも生まれる。ただ本棚を並べるだけでなく、利用者の周囲、360度本に囲まれているような世界観があっても楽しめると思う。